

大船渡市スポーツ推進計画

令和元年度～令和 10 年度

令和 2 年 2 月 策定

令和 7 年 月 中間見直し（案）

大船渡市

目 次

I 計画策定に当たって	1
1 策定の趣旨	
2 計画の位置付け	
3 計画の期間	2
II 本市におけるスポーツを取り巻く現状と課題（令和7年 月中間見直し）	3
1 人口・世帯	
2 小中学生の体力の状況	7
3 市民のスポーツ実施の状況	6
(1) スポーツ大会・イベントへの参加	
(2) スポーツ教室への参加	7
(3) 東北・全国大会等への出場	
(4) スポーツ少年団への登録	8
(5) 高齢者のスポーツ実施状況	9
(6) 障がい者のスポーツ実施状況	
4 施設の復旧等の状況	10
5 施設の利用状況	11
(1) 各種スポーツ施設の利用	
① スポーツ施設全体	
② グラウンド、野球場、広場	13
③ 体育館	
④ テニスコート	15
⑤ その他施設	16
(2) 学校体育施設の開放	17
① 利用件数	
② 利用者数	18
(3) その他の施設の利用	
6 市民意識調査の結果	19
(1) スポーツの実施状況	
(2) スポーツ施設整備及び利用の満足度	
7 スポーツ推進に向けた課題の整理	21
(1) 生涯にわたるスポーツの推進	
① 子どもの体力づくり	
② 働き手世代のスポーツ機会の拡充	
③ 高齢者・障がい者スポーツの推進	
(2) スポーツ環境の充実	
① 施設・設備の整備・充実	

② 指導者の育成・充実	22
③ スポーツイベントを通じた交流人口の拡大及び地域の活性化	
④ 近隣自治体との連携	
Ⅲ スポーツ推進に向けた基本的な考え方	23
1 基本理念	
2 基本方針	24
(1) 生涯にわたるスポーツの推進	
(2) スポーツを通じたにぎわいあるまちづくりの推進	
(3) 市民ニーズに応じたスポーツ環境の整備・充実	
3 スポーツ推進の施策の体系	25
Ⅳ 基本施策	26
1 生涯にわたるスポーツの推進	
(1) 子どもの体力づくり	
(2) 働き手世代のスポーツ機会の拡充	
(3) 高齢者・障がい者スポーツの推進	27
(4) 競技力の向上	
2 スポーツを通じたにぎわいあるまちづくりの推進	28
(1) スポーツによる交流の促進	
(2) 地域でのスポーツ活動の推進	29
(3) 近隣自治体等との連携	30
3 市民ニーズに応じたスポーツ環境の整備・充実	31
(1) スポーツを「ささえる」人材の育成・充実	
(2) スポーツ施設・設備の整備・充実	
(3) スポーツ施設等の有効活用	32
(4) スポーツにおけるDXの推進	
Ⅴ 計画の推進と進捗管理	33
1 計画の推進	
2 計画の進捗管理	

I 計画策定にあたって

1 策定の趣旨

今日、少子高齢化の進行や情報化、国際化の進展、地域社会を取り巻く環境の変化や人々の価値観の多様化などから、精神的に豊かなライフスタイルを求める傾向がますます強まってきています。

特に、東日本大震災の影響で地域コミュニティの再構築が求められる地域においては、日常生活における身体を動かす機会の減少や人間関係の希薄化によって、体力の低下や精神的ストレスの増大が懸念されていることから、心身両面にわたり健康意識が高まり、スポーツ・レクリエーションに対するニーズが一段と大きくなってきています。

平成 23 年 6 月にスポーツ振興法（昭和 36 年法律第 141 号）を全部改正したスポーツ基本法（平成 23 年法律第 78 号）では、スポーツを通じ幸福で豊かな生活を営むことは、全ての人々の権利であり、青少年の体力向上と健全育成、地域の一体感や活力の醸成、地域社会の再生、心身の健康の保持増進等、健康で活力に満ちた長寿社会の実現に不可欠であるとしています。

また、国はこのスポーツ基本法に基づき、平成 24 年 3 月、国、地方公共団体、スポーツ団体などの関係者が一体となって、スポーツに関する施策を総合的かつ計画的に推進していくための重要な指針として「スポーツ基本計画」を策定し、令和 4 年 3 月には「第 3 期スポーツ基本計画」を策定しています。

さらに、岩手県では、平成 31 年 3 月に、「スポーツの推進による県民誰もが健やかで輝く岩手の創造」を基本理念とした「岩手県スポーツ推進計画」を策定し、令和 6 年 3 月には、「第 2 期岩手県スポーツ推進計画」を策定しています。

このような中であって、本市では、国のスポーツ基本計画、県のスポーツ推進計画を指針とし、市民のスポーツ活動の状況、社会情勢の変化、地域特性等に起因する課題に対応するため、令和 2 年 3 月に「大船渡市スポーツ推進計画」を策定したところです。

2 計画の位置付け

- (1) 本計画は、スポーツ基本法第 10 条に規定する地方スポーツ推進計画として策定するものであり、本市のスポーツ推進の基本的な方向性を示すもので、大船渡市総合計画のスポーツ・レクリエーション部門に関するより具体的な内容を示すものです。
- (2) 計画の実施に当たっては、健康づくりや子育て支援、学校教育など関連部署、関係団体・企業等との連携を密にしながら推進しようとするものです。

3 計画の期間

本計画の期間は、令和元年度を初年度とした、令和 10 年度までの 10 年間とし、令和 5 年度までの 5 年間の前期、令和 6 年度以降の 5 年間の後期とします。

本計画では、策定時に、5 年ごとにその時点での計画の進捗状況や社会情勢の変化

等に応じて、必要な見直しを行うものとしていたことから、国のスポーツ施策の動向等も踏まえつつ、本市のスポーツ活動の現状に即して一部見直しを行うものです。

Ⅱ 本市におけるスポーツを取り巻く現状と課題（令和7年 月中旬見直し）

1 人口・世帯

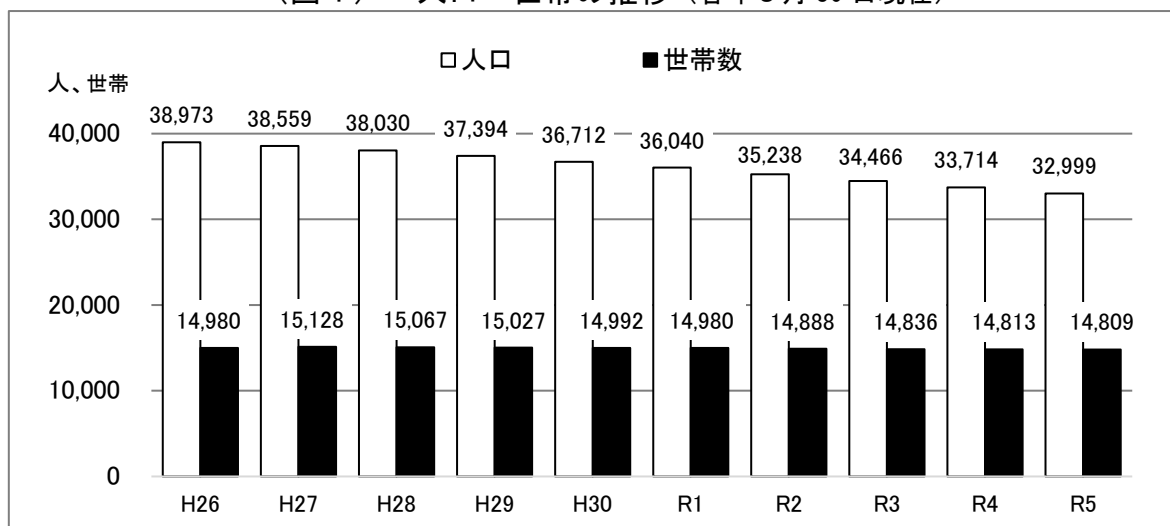
平成26年以降の本市の人口推移（図1）を見ると、人口は減少傾向にあり、令和5年は、平成26年と比較すると5,974人減少（△15.3%）し、32,999人となっています。

一方、世帯数は、年によって多少の増減はあるものの、ほぼ横ばいで推移しています。

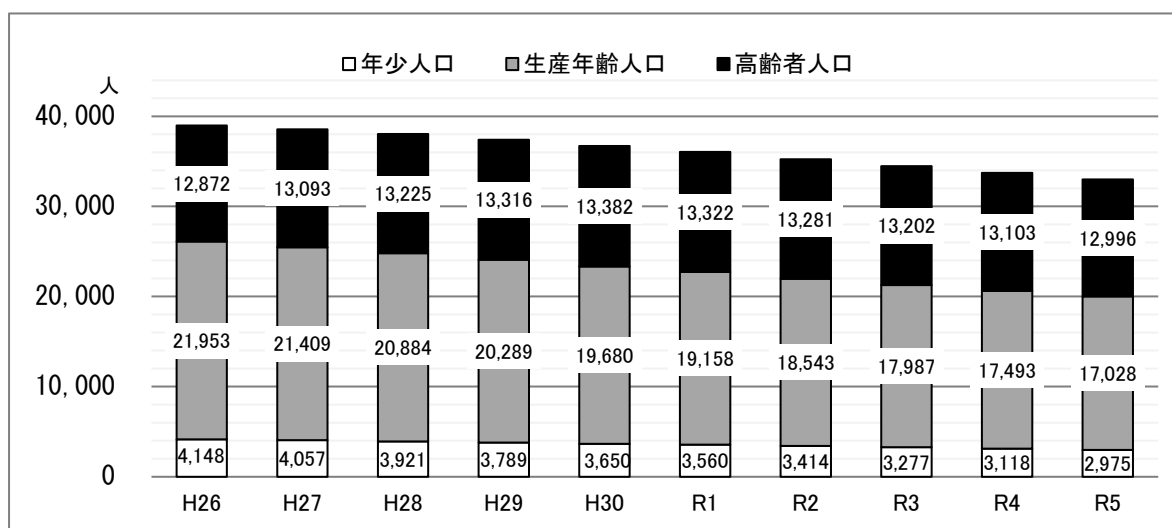
年齢階層別人口（図2）については、令和5年を平成26年と比較すると、高齢者人口は12,996人と124人増加（1.0%）、生産年齢人口は17,028人と4,925人減少（△22.4%）、年少人口は2,975人と1,173人減少（△28.3%）となっています。

令和5年の構成割合を平成26年と比較すると、高齢者人口は6.4ポイント増の39.4%、生産年齢人口は4.7ポイント減の51.6%、年少人口は1.6ポイント減の9.0%となっており、少子高齢化が進行しています。

（図1） 人口・世帯の推移（各年9月30日現在）



（図2） 年齢階層別人口の推移（各年9月30日現在）



2 小中学生の体力の状況

毎年度、小学5年生と中学2年生を対象に実施される「全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果」(表1)において、平成30年度と令和6年度で本市の数値を比較すると、「体力合計点」については、小学5年生の男子・女子共に数値が低下しています。特に、小学5年生女子は、ほぼ全ての項目で数値が低下しています。

一方で、令和6年度の調査結果で全国平均と本市を比較(図3・4)すると、小・中学生の男子・女子共に「体力合計点」において全国平均を上回っています。

中学生については、全ての項目で、男子・女子共に全国平均を上回っています。

(表1) 全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果(国、岩手県、大船渡市の平均値比較)

□小学5年生・男子

項 目	H30年度 (A)			R6年度 (B)			B-A			R6年度	
	市	県	全国	市 (C)	県 (D)	全国 (E)	市	県	全国	C-D	C-E
握力 (kg)	16.44	16.92	16.54	16.02	16.56	16.02	△ 0.42	△ 0.36	△ 0.52	△ 0.54	0.00
上体起こし (回)	20.65	20.02	19.95	19.00	19.32	19.19	△ 1.65	△ 0.70	△ 0.76	△ 0.32	△ 0.19
長座体前屈 (cm)	29.46	32.51	33.31	30.64	32.77	33.79	1.18	0.26	0.48	△ 2.13	△ 3.15
反復横跳び (回)	44.56	43.31	42.10	40.79	41.99	40.67	△ 3.77	△ 1.32	△ 1.43	△ 1.20	0.12
20mシャトルラン (回)	60.98	54.75	52.15	53.01	49.29	46.90	△ 7.97	△ 5.46	△ 5.25	3.72	6.11
50m走 (秒)	9.47	9.49	9.37	9.58	9.61	9.50	0.11	0.12	0.13	△ 0.03	0.08
立ち幅跳び (cm)	153.10	152.41	152.24	155.40	150.24	150.46	2.30	△ 2.17	△ 1.78	5.16	4.94
ソフトボール投げ (m)	26.42	23.48	22.15	23.52	22.46	20.74	△ 2.90	△ 1.02	△ 1.41	1.06	2.78
体力合計点 (点)	55.22	54.73	54.21	52.90	53.20	52.54	△ 2.32	△ 1.53	△ 1.67	△ 0.30	0.36

□小学5年生・女子

項 目	H30年度 (A)			R6年度 (B)			B-A			R6年度	
	市	県	全国	市 (C)	県 (D)	全国 (E)	市	県	全国	C-D	C-E
握力 (kg)	16.61	16.74	16.15	16.34	16.40	15.78	△ 0.27	△ 0.34	△ 0.37	△ 0.06	0.56
上体起こし (回)	19.65	19.12	18.96	19.33	18.43	18.16	△ 0.32	△ 0.69	△ 0.80	0.90	1.17
長座体前屈 (cm)	35.38	36.97	37.62	34.01	37.04	38.21	△ 1.37	0.07	0.59	△ 3.03	△ 4.20
反復横跳び (回)	42.65	41.97	40.32	40.88	40.30	38.71	△ 1.77	△ 1.67	△ 1.61	0.58	2.17
20mシャトルラン (回)	45.38	45.36	41.88	43.07	39.56	36.60	△ 2.31	△ 5.80	△ 5.28	3.51	6.47
50m走 (秒)	9.61	9.65	9.60	9.70	9.77	9.76	0.09	0.12	0.16	△ 0.07	△ 0.06
立ち幅跳び (cm)	147.28	147.81	145.94	145.68	143.52	143.18	△ 1.60	△ 4.29	△ 2.76	2.16	2.50
ソフトボール投げ (m)	15.60	14.97	13.77	16.46	14.58	13.15	0.86	△ 0.39	△ 0.62	1.88	3.31
体力合計点 (点)	57.55	57.25	55.90	56.10	55.14	53.93	△ 1.45	△ 2.11	△ 1.97	0.96	2.17

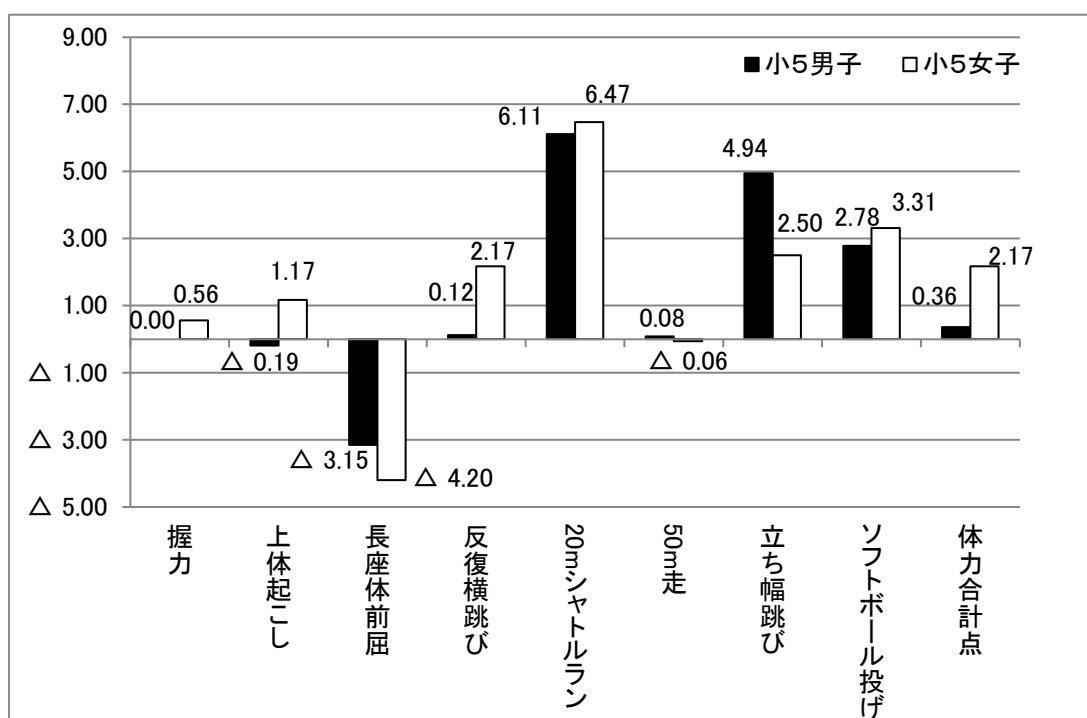
□中学2年生・男子

項 目	H30年度 (A)			R6年度 (B)			B-A			R6年度	
	市	県	全国	市 (C)	県 (D)	全国 (E)	市	県	全国	C-D	C-E
握力 (kg)	31.80	30.65	28.84	29.26	30.10	28.91	△ 2.54	△ 0.55	0.07	△ 0.84	0.35
上体起こし (回)	28.11	27.80	27.36	27.30	26.20	25.82	△ 0.81	△ 1.60	△ 1.54	1.10	1.48
長座体前屈 (cm)	44.40	45.82	43.44	47.40	45.43	44.32	3.00	△ 0.39	0.88	1.97	3.08
反復横跳び (回)	53.36	52.84	52.24	52.20	51.68	51.49	△ 1.16	△ 1.16	△ 0.75	0.52	0.71
20mシャトルラン (回)	89.59	86.80	86.06	78.87	80.72	78.65	△ 10.72	△ 6.08	△ 7.41	△ 1.85	0.22
50m走 (秒)	7.97	7.98	7.99	7.97	7.96	7.99	0.00	△ 0.02	0.00	0.01	△ 0.02
立ち幅跳び (cm)	196.85	199.60	195.62	203.81	200.40	197.16	6.96	0.80	1.54	3.41	6.65
ハンドボール投げ (m)	21.07	21.51	20.55	24.36	22.07	20.49	3.29	0.56	△ 0.06	2.29	3.87
体力合計点 (点)	44.05	44.51	42.32	44.70	43.54	41.69	0.65	△ 0.97	△ 0.63	1.16	3.01

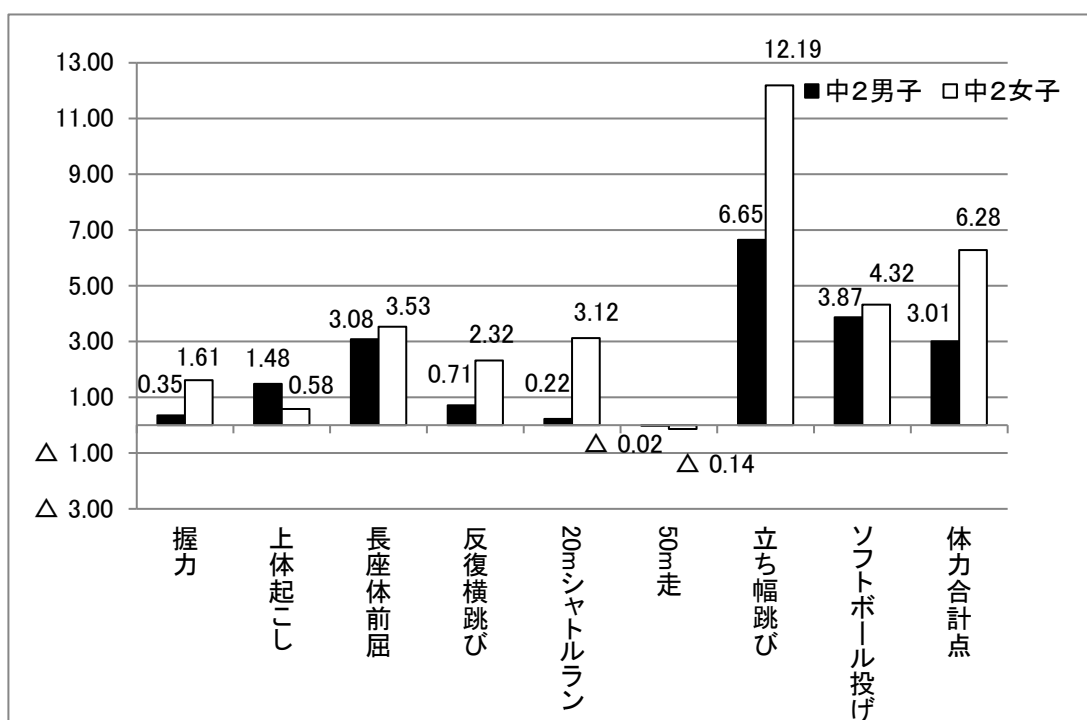
□中学2年生・女子

項 目	H30年度 (A)			R6年度 (B)			B-A			R4年度	
	市	県	全国	市 (C)	県 (D)	全国 (E)	市	県	全国	C-D	C-E
握力 (kg)	24.65	24.74	23.87	24.75	23.74	23.14	0.10	△ 1.00	△ 0.73	1.01	1.61
上体起こし (回)	22.77	23.72	23.87	22.05	21.70	21.47	△ 0.72	△ 2.02	△ 2.40	0.35	0.58
長座体前屈 (cm)	45.39	47.70	46.22	49.97	47.19	46.44	4.58	△ 0.51	0.22	2.78	3.53
反復横跳び (回)	47.98	47.72	47.37	47.99	45.59	45.67	0.01	△ 2.13	△ 1.70	2.40	2.32
20mシャトルラン (回)	60.87	60.10	59.87	53.60	51.98	50.48	△ 7.27	△ 8.12	△ 9.39	1.62	3.12
50m走 (秒)	8.76	8.79	8.78	8.82	8.92	8.96	0.06	0.13	0.18	△ 0.10	△ 0.14
立ち幅跳び (cm)	170.56	172.42	170.26	178.41	166.40	166.22	7.85	△ 6.02	△ 4.04	12.01	12.19
ハンドボール投げ (m)	14.80	13.79	12.98	16.64	13.35	12.32	1.84	△ 0.44	△ 0.66	3.29	4.32
体力合計点 (点)	51.59	52.18	50.61	53.50	48.71	47.22	1.91	△ 3.47	△ 3.39	4.79	6.28

(図3) 小学5年生男女 全国平均との比較(令和6年度)



(図4) 中学2年生男女 全国平均との比較(令和6年度)



3 市民のスポーツ実施の状況

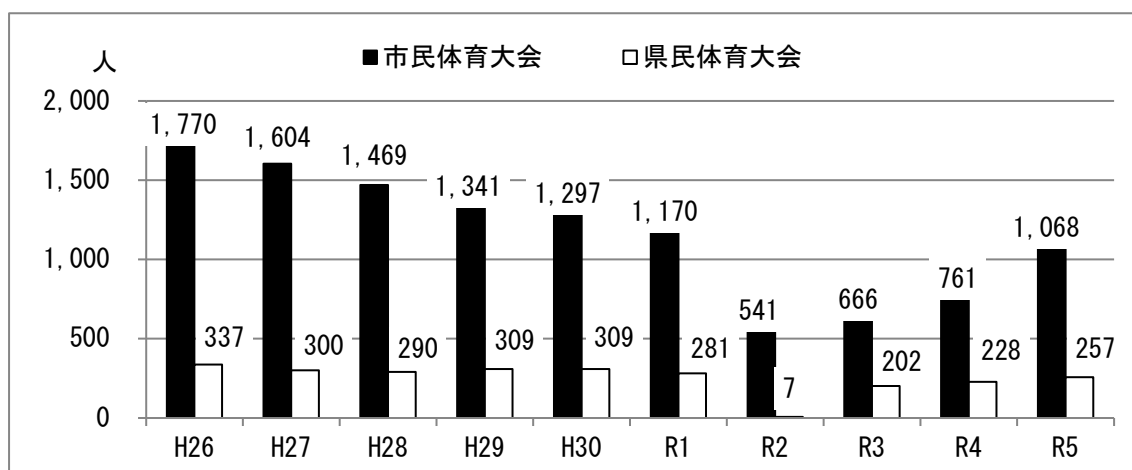
(1) スポーツ大会・イベントへの参加

市民が参加する主要なスポーツ大会として市民体育大会が挙げられますが、参加者数（図5）は年々減少傾向にあり、令和5年度は新型コロナウイルス感染症の影響から回復したものの、平成26年度と比較して約40%減少しています。一方で、県民体育大会には、一時新型コロナウイルス感染症の影響があったものの、チームの勝利や記録の更新を目指して、例年300人前後の選手が参加しています。

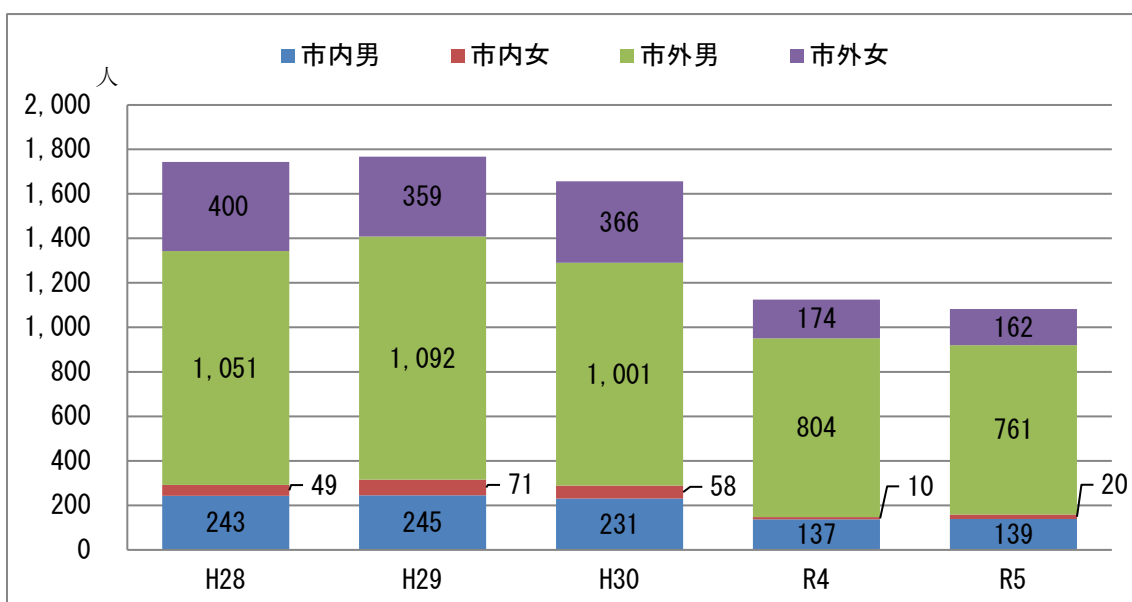
このほか、大船渡新春ロードレース大会（図6）は、市の一大スポーツイベントとして多くの市民が参加するとともに、市外からの参加者が8割を超えるなど、交流人口の拡大にも寄与しています。

また、東日本大震災後は、野球やサッカーを中心に、トップアスリート等によるスポーツ教室や交流大会の開催などといった復興支援活動も行われています。

（図5） 市民体育大会・県民体育大会参加者数



（図6） 大船渡新春ロードレース大会参加申込者数

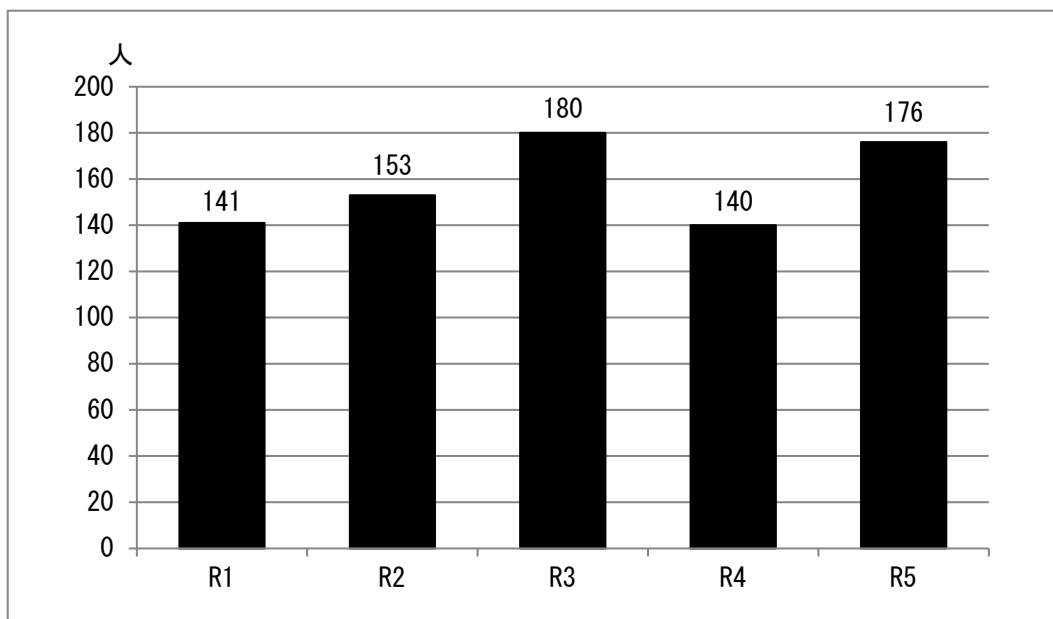


※R1はコース上の大規模道路工事のため、R2～3は新型コロナウイルス感染症の影響により中止

(2) スポーツ教室への参加

市民がスポーツを始めるきっかけづくりを目的に、初心者を対象として開催される各種スポーツ教室（図 7）には、平成 30 年度までは例年 250 人以上の市民が参加していましたが、令和元年度からはコロナ禍の影響も重なり、160 人前後に減少しています。

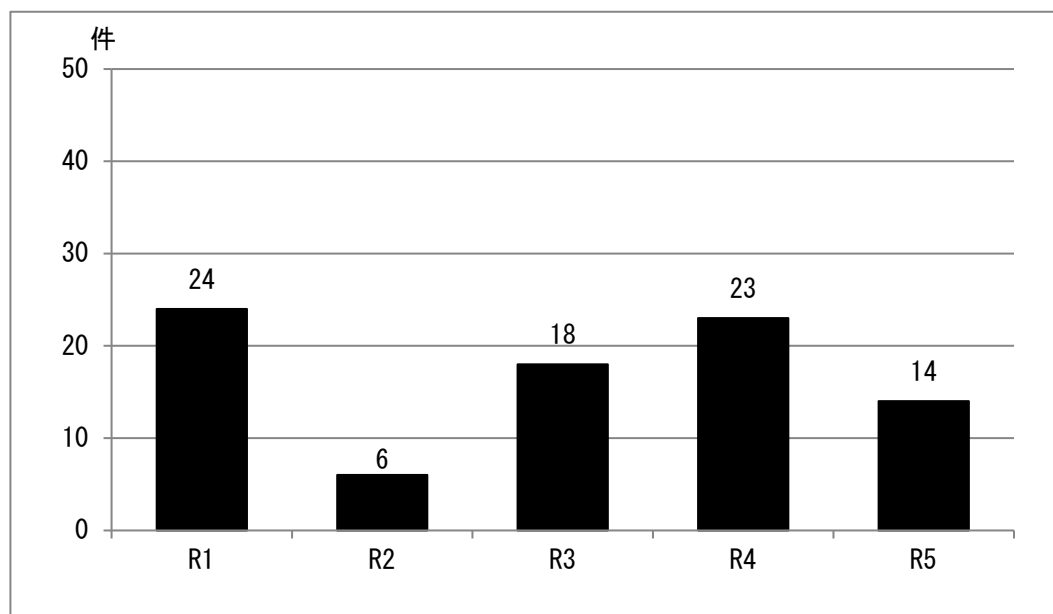
（図 7） スポーツ教室参加者数（キッズ体操教室を除く）



(3) 東北・全国大会等への出場

本市の競技スポーツにおいては、野球や陸上競技、柔道、ソフトテニス等を中心に、東北・全国などの上位大会へ毎年出場を果たしており、活躍が続いています。

（図 8） 東北・全国大会等出場件数



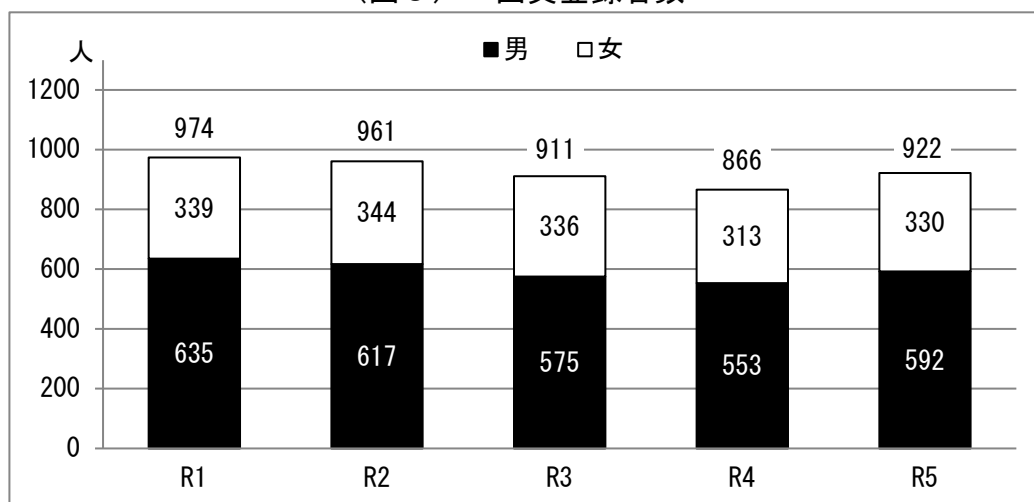
(4) スポーツ少年団への登録

スポーツ少年団の団員登録者数（図9）は、年々減少傾向にあります。

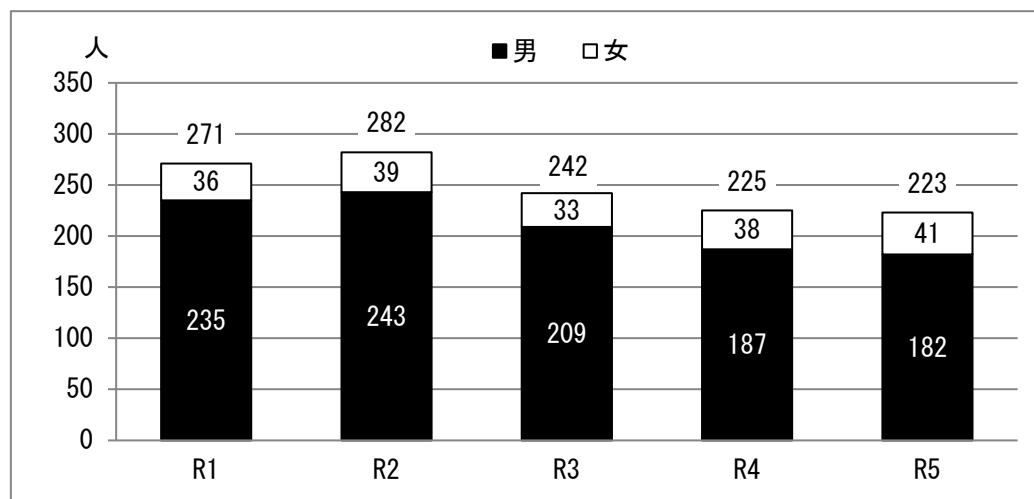
主に団員の保護者などからなる指導者の登録者数（図10）も、令和2年度までは微増で推移していましたが、令和3年度からは減少に転じています。

また、女性の指導者登録者数については、令和5年度で全体の18.4%にとどまっています。

（図9） 団員登録者数



（図10） 指導者登録者数



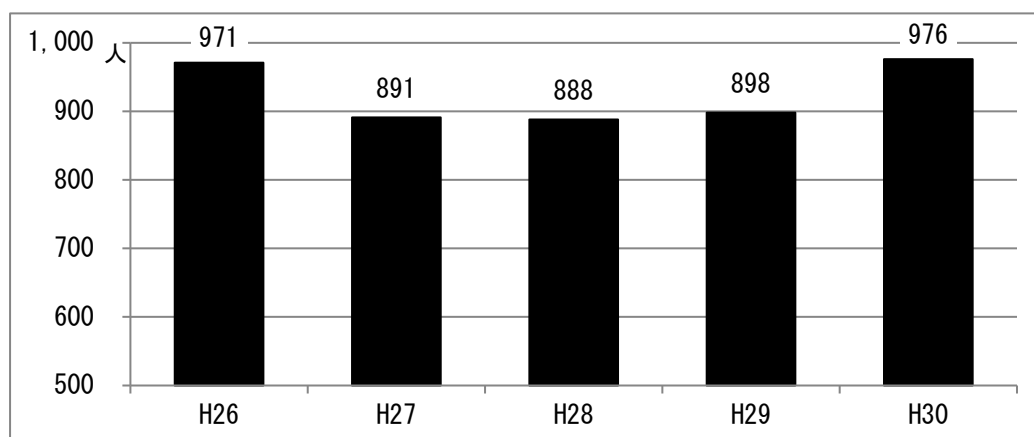
(5) 高齢者のスポーツ実施状況

大船渡市老人クラブ連合会主催による親睦交流大運動会（※）には、例年、400人を超える参加者が集い、高齢者にとっての一大スポーツイベントになっています。

また、健康づくり関連事業として、市内各地域でボッチャやカーリンコンといったニュースポーツに取り組むなど、健康寿命延伸のための一つのツールとして、スポーツが高齢者の方々に積極的に活用されています。

（※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、R 2～4 は中止。）

（図 11） 市老人クラブ連合会主催（共催）による健康づくり関連事業への参加者数



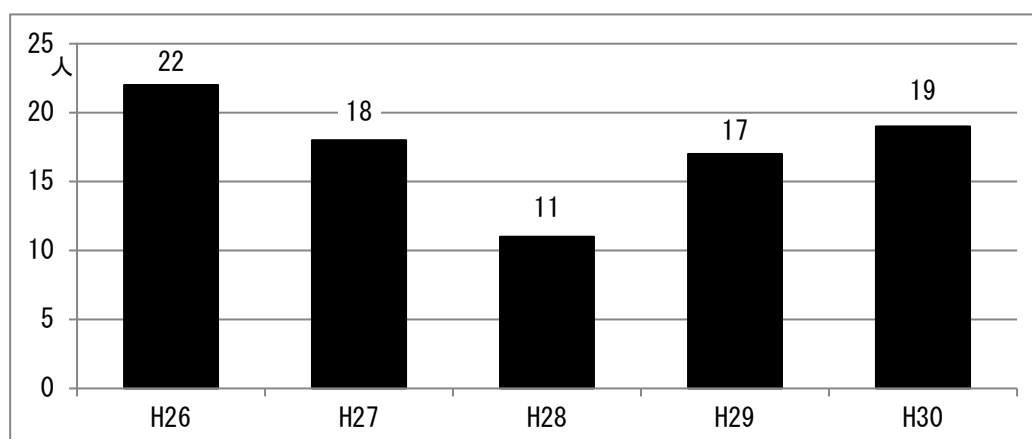
(6) 障がい者のスポーツ実施状況

サウンド・テーブル・テニスや卓球バレー、東京 2020 パラリンピックの正式種目であるボッチャなど、いわゆる「ユニバーサルスポーツ」が障がい者の方々に親しまれています。本市においても、気仙地区障がい者スポーツ交流会（※）（図 12）に例年参加しています。

また、希望郷いわて大会（第 16 回全国障害者スポーツ大会）の成功を受け、平成 29 年 1 月に一般社団法人岩手県障がい者スポーツ協会が設立され、全県において障がい者スポーツの推進体制が整備されつつあります。

（※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、R 2～5 は中止。）

（図 12） 気仙地区障がい者スポーツ交流会への参加者数



4 施設の復旧等の状況

東日本大震災で、本市沿岸部の小中学校や盛川沿いのスポーツ施設は甚大な被害を受けるとともに、応急仮設住宅の建設等により供用を停止せざるを得ない施設も出ました。

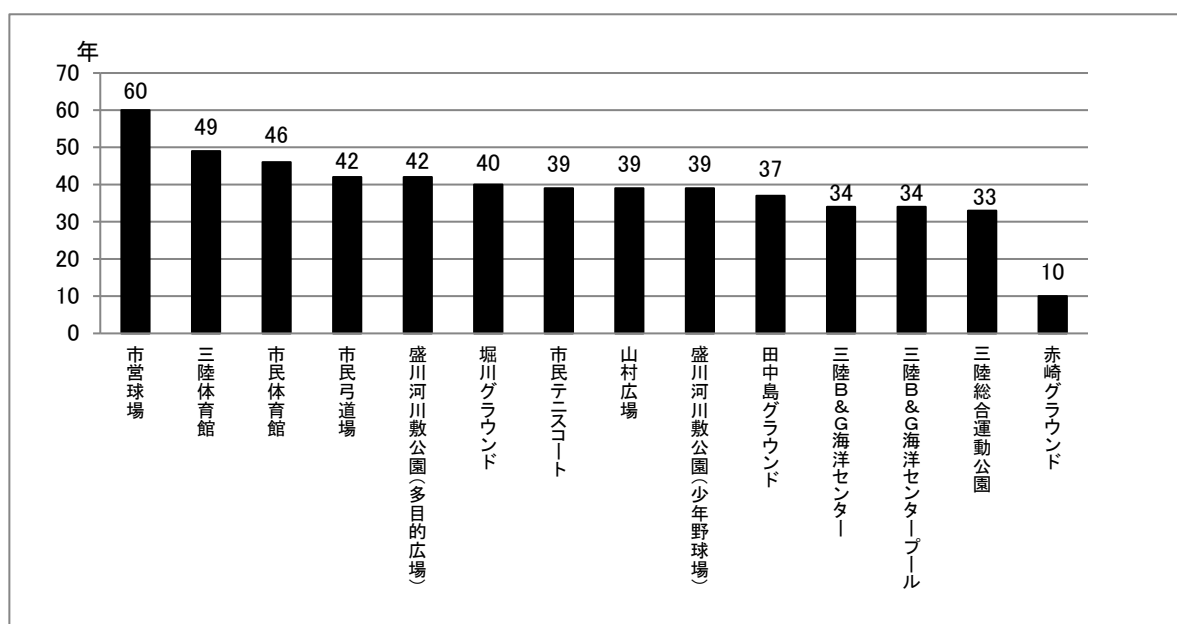
しかし、平成 30 年 7 月の市営球場の供用再開をもって、市内スポーツ施設が全て復旧するとともに、市民体育館や市民テニスコート、盛川河川敷公園など多くの施設で機能改善が図られました。また、東日本大震災により被災した旧赤崎小学校跡地を利用して、赤崎グラウンドが新設され、平成 26 年度より新たに供用を開始しました。

(表 2) 施設の復旧等の状況

施 設	復旧、機能改善の主な内容
盛 川 河 川 敷 公 園	原形復旧の後、支援を受けて少年野球場のバックネット、スコアボード、ベンチを整備したほか、多目的広場には天然芝を整備
市 営 球 場	県による復旧工事とともに、市による観客席の更新、クラック補修、球場内のラバーフェンスの更新や側溝蓋等への緩衝材の設置などを経て、平成 30 年 7 月に供用を再開
田 中 島 グラウンド	原形復旧
市民テニスコート	コート、フェンス、備品等全てが新しくなったほか、支援により簡易スタンドを設置
赤 崎 グラウンド	支援や助成制度を活用し、人工芝グラウンド、クラブハウス、観客席等を整備
市 民 体 育 館	災害復旧工事、耐震改修工事及び空調設備改修工事を実施
市 民 弓 道 場	原形復旧
堀 川 グラウンド	支援を受けて、水洗トイレ、内外野フェンス、太陽光発電・蓄電による夜間照明等を整備
時 習 館 柔 道 場	支援を受け改築
被 災 小 中 学 校	改築して開放 住民の避難に対応し、床下に簡易暖房設備を整備

市内のスポーツ施設は、令和 4 年度末現在、赤崎グラウンド以外の施設が整備から 30 年以上経過しており、各施設の老朽化が進行しています。

(図 13) 市内スポーツ施設建築経過年数 (令和 5 年度末現在)



5 施設の利用状況

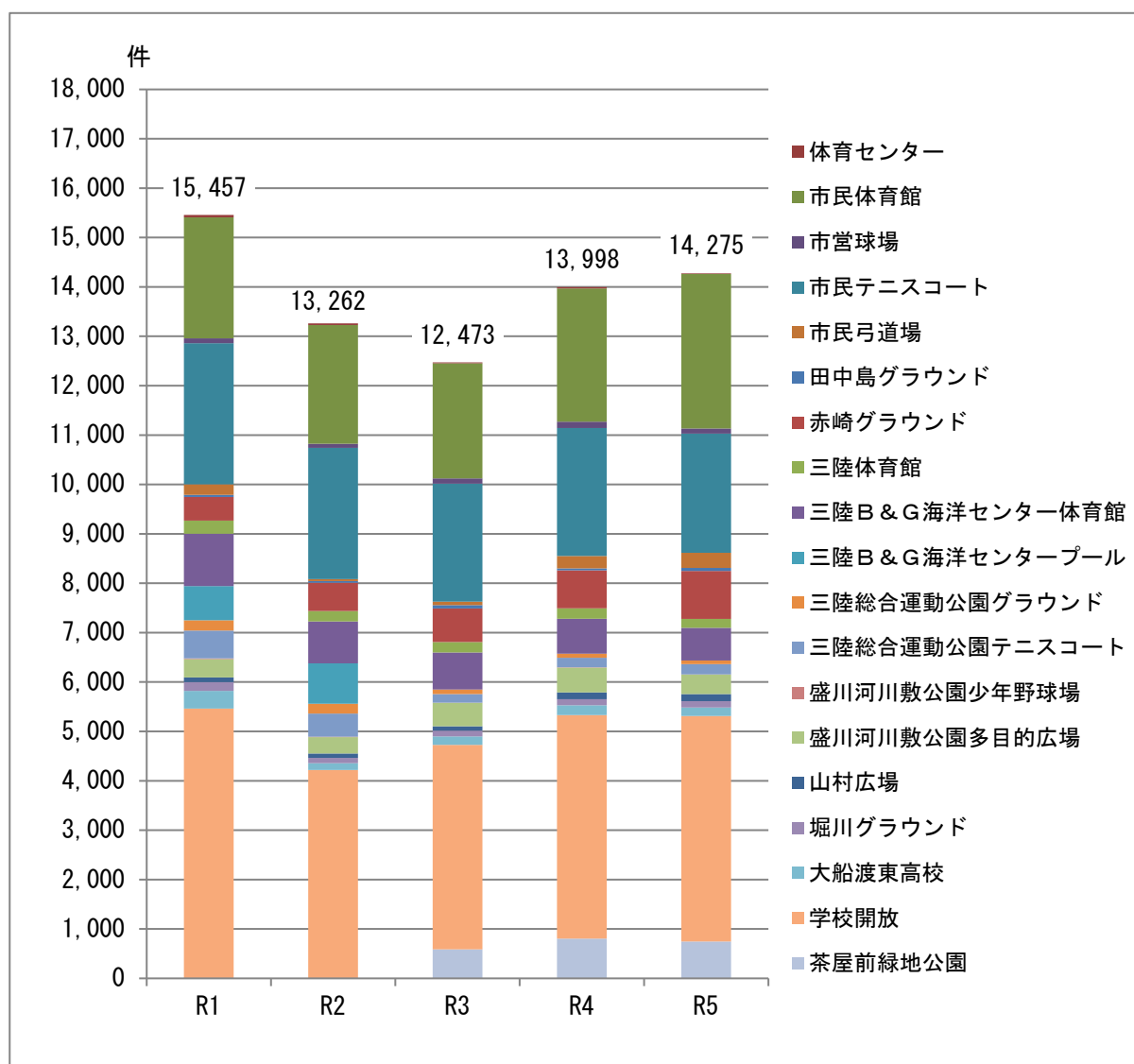
(1) 各種スポーツ施設の利用

市内の各種スポーツ施設の利用状況の推移は、次のとおりです。

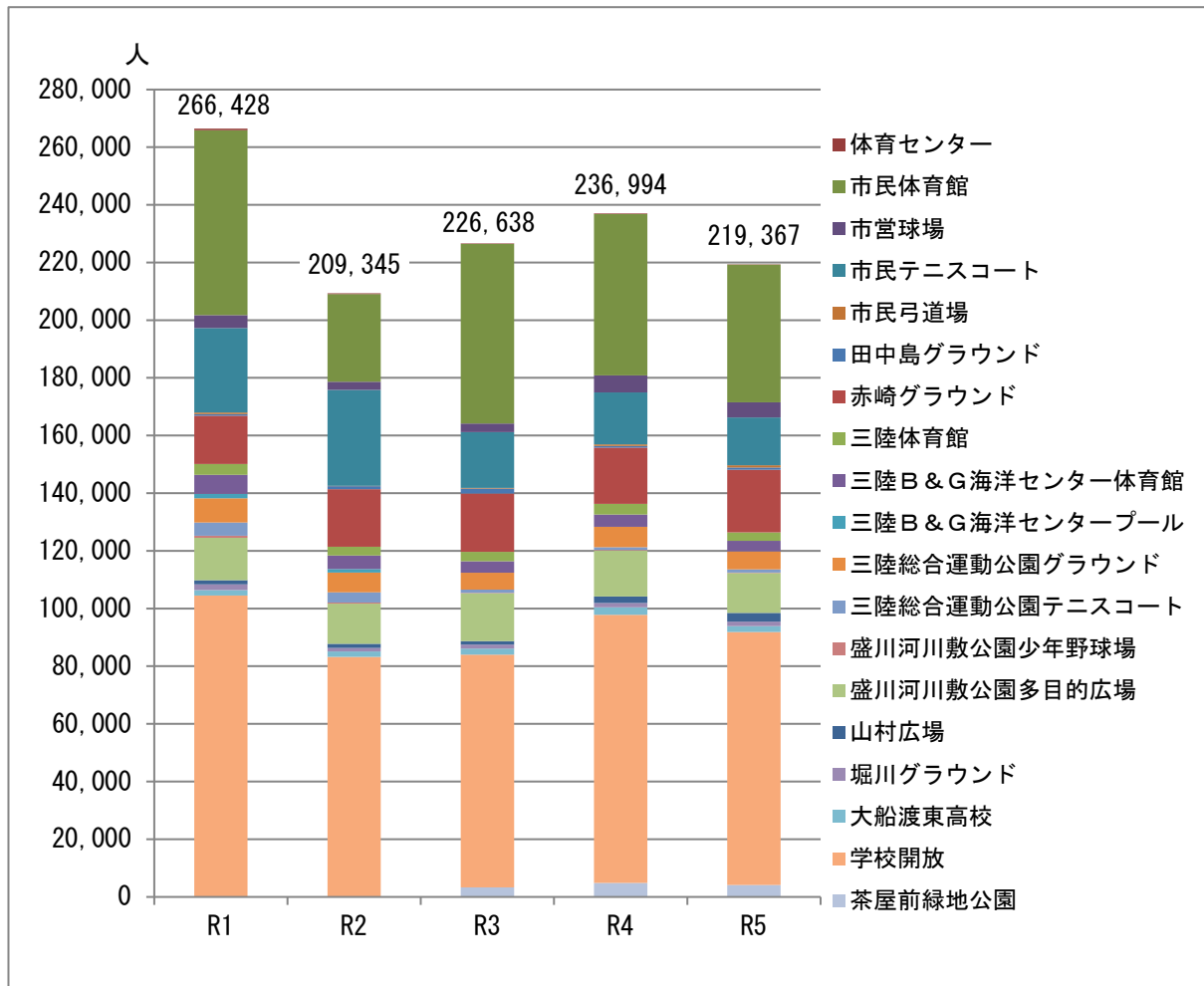
① スポーツ施設全体

スポーツ施設全体の利用件数（図 14）は、年々減少が続いており、近年は新型コロナウイルス感染症の影響もあって、令和 5 年度は令和元年度と比較して 7.6%減の 14,275 件となっています。利用者数（図 15）についても年々減少傾向にあり、令和 5 年度は令和元年度と比較して 17.7%減の 219,367 人となっています。

（図 14） 市内スポーツ施設利用件数



(図 15) 市内スポーツ施設利用者数



② グラウンド、野球場、広場

グラウンドなどの屋外施設については、利用件数、利用者数共に増加傾向にあり、令和元年度と比較して件数で72.0%増加、利用者数で11.1%増加となっています。

(表3) グラウンド、野球場、広場の利用状況の推移

(単位：件、人)

施 設	利用件数					利用者数				
	R1	R2	R3	R4	R5	R1	R2	R3	R4	R5
市営球場	98	82	107	127	106	4,455	2,854	2,986	5,916	5,258
田中島グラウンド	42	34	68	39	62	548	1,043	1,701	536	775
赤崎グラウンド	477	573	678	768	969	16,743	19,925	20,243	19,543	21,743
三陸総合運動公園 グラウンド	208	200	93	84	72	8,360	6,839	5,838	7,040	6,252
盛川河川敷公園 少年野球場	15	8	3	6	2	678	391	175	199	130
盛川河川敷公園 多目的広場	372	333	474	502	394	14,734	13,882	16,541	15,945	13,804
堀川グラウンド	175	107	116	122	130	2,002	1,210	1,435	1,450	1,547
県立大船渡東高校 グラウンド	55	55	58	58	55	750	906	760	985	571
茶屋前緑地公園	—	—	587	804	745	—	—	3,264	4,828	4,127
合 計	1,442	1,392	2,184	2,510	2,535	48,270	47,050	52,943	56,442	54,207

③ 体育館

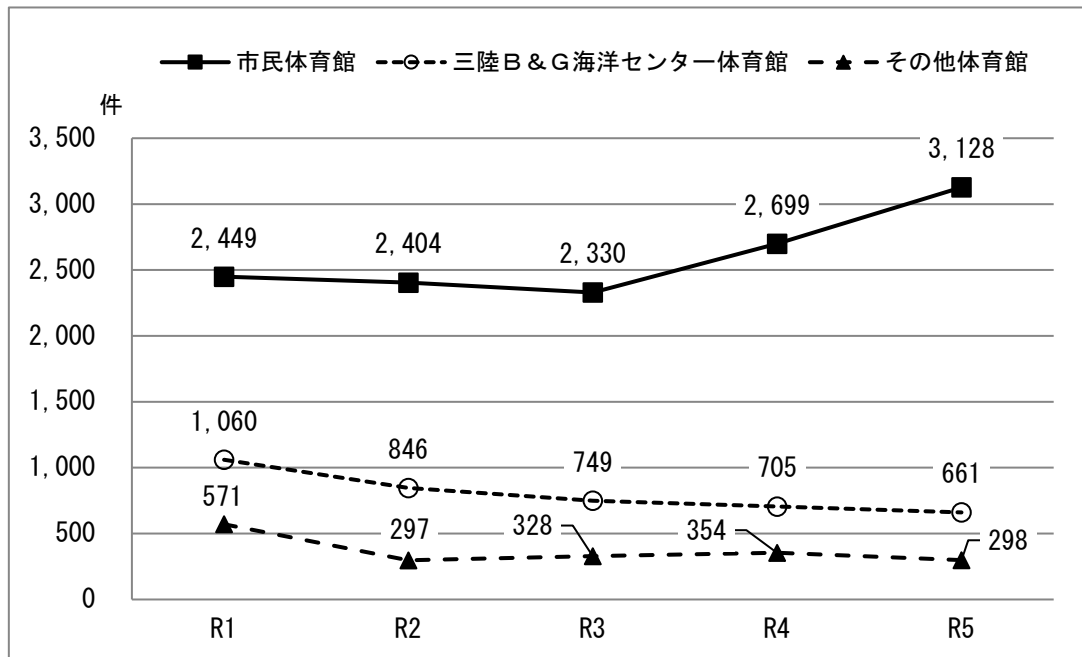
体育館については、利用件数(図16)は、おおむね横ばいの傾向で推移しています。利用者数(図17)については、令和2年度に新型コロナウイルス感染症の影響で大きく落ち込み、令和3年度に回復したものの、その後は減少傾向にあります。

(表4) 体育館の利用状況の推移

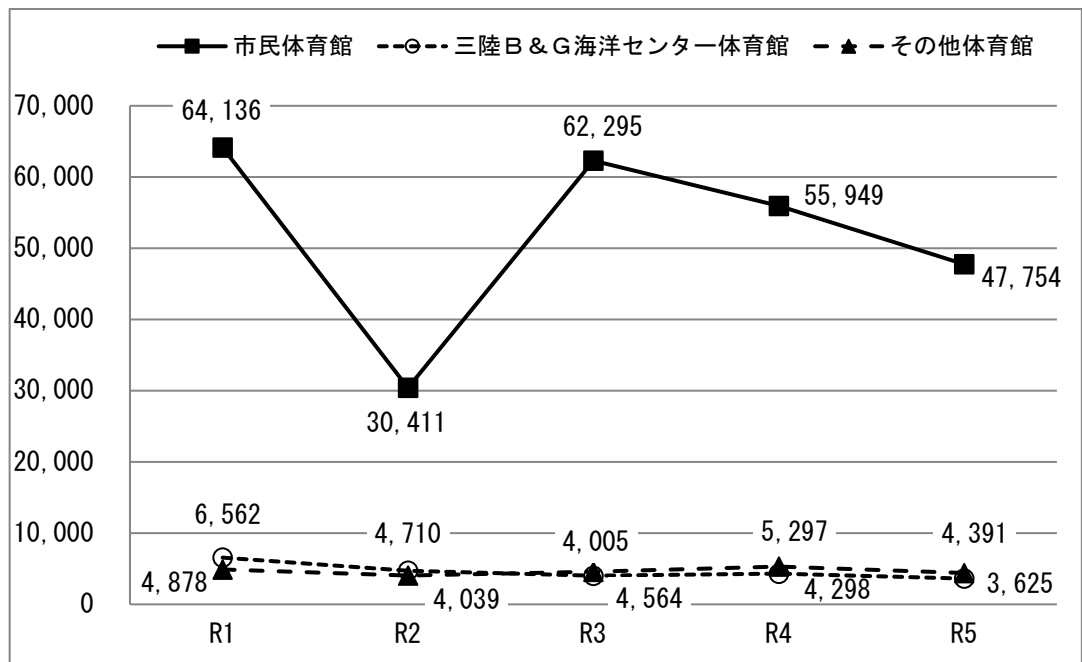
(単位：件、人)

施 設	利用件数					利用人数				
	R1	R2	R3	R4	R5	R1	R2	R3	R4	R5
市民体育館	2,449	2,404	2,330	2,699	3,128	64,136	30,411	62,295	55,949	47,754
三陸B&G海洋センター 体育館	1,060	846	749	705	661	6,562	4,710	4,005	4,298	3,625
三陸体育館	266	212	213	213	183	3,747	3,059	3,251	3,663	2,940
県立大船渡東高校 体育館	305	85	115	141	115	1,131	980	1,313	1,634	1,451
合 計	4,080	3,547	3,407	3,758	4,087	75,576	39,160	70,864	65,544	55,770

(図 16) 体育館利用件数の推移



(図 17) 体育館利用者数の推移



④ テニスコート

利用件数について、市民テニスコート、三陸総合運動公園テニスコート共に減少傾向で推移しています。

利用者数については、市民テニスコートが令和2年度に一度増加しましたが、その後は、市民テニスコート、三陸総合運動公園テニスコート共に減少に転じています。

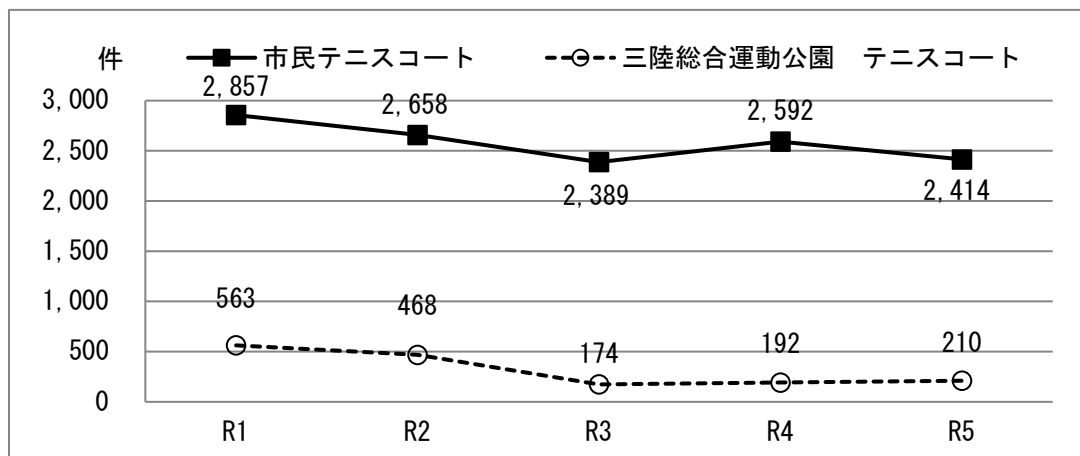
令和5年度は令和元年度と比較すると、市民テニスコート、三陸総合運動公園テニスコートの合計で、利用件数が23.3%減少、利用者数が47.9%減少となっています。

(表5) テニスコートの利用状況の推移

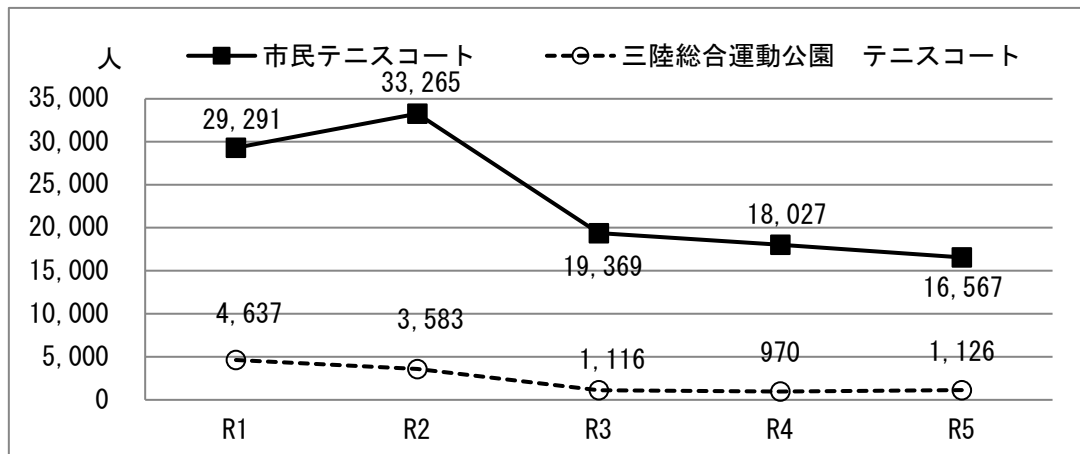
(単位：件、人)

施 設	利用件数					利用者数				
	R1	R2	R3	R4	R5	R1	R2	R3	R4	R5
市民テニスコート	2,857	2,658	2,389	2,592	2,414	29,291	33,265	19,369	18,027	16,567
三陸総合運動公園テニスコート	563	468	174	192	210	4,637	3,583	1,116	970	1,126
合 計	3,420	3,126	2,563	2,784	2,624	33,928	36,848	20,485	18,997	17,693

(図18) テニスコート利用件数の推移



(図19) テニスコート利用者数の推移



⑤ その他施設

利用件数について、市民弓道場は、利用件数、利用者数ともに、令和2年度に新型コロナウイルス感染症の影響により大幅に減少しましたが、令和3年度以降は増加傾向にあります。

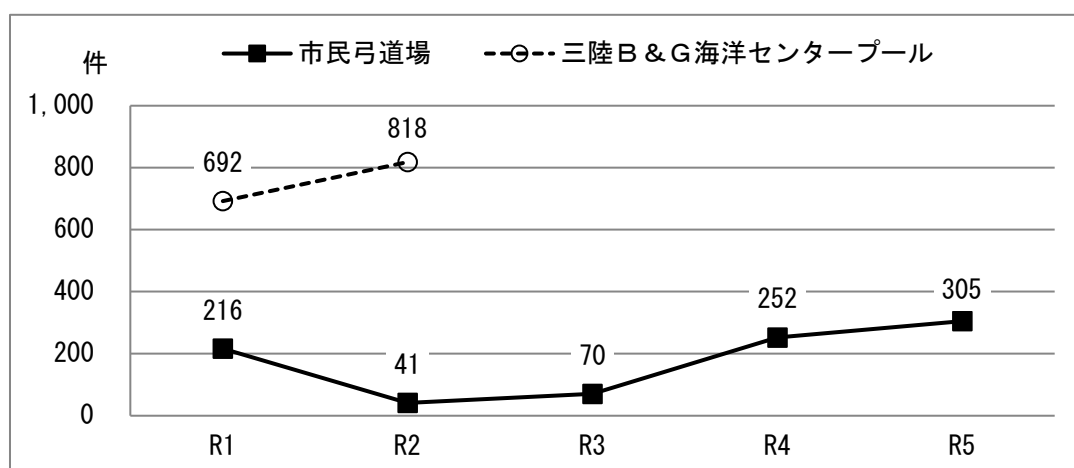
三陸B&G海洋センタープールは、令和3年度から機械の不具合により休止となっていました、市内に通年稼働するプールがあるため希少性が低く、改修しても利用状況の改善が見込めないことから、令和5年度末で廃止しました。

(表6) その他施設の利用状況の推移

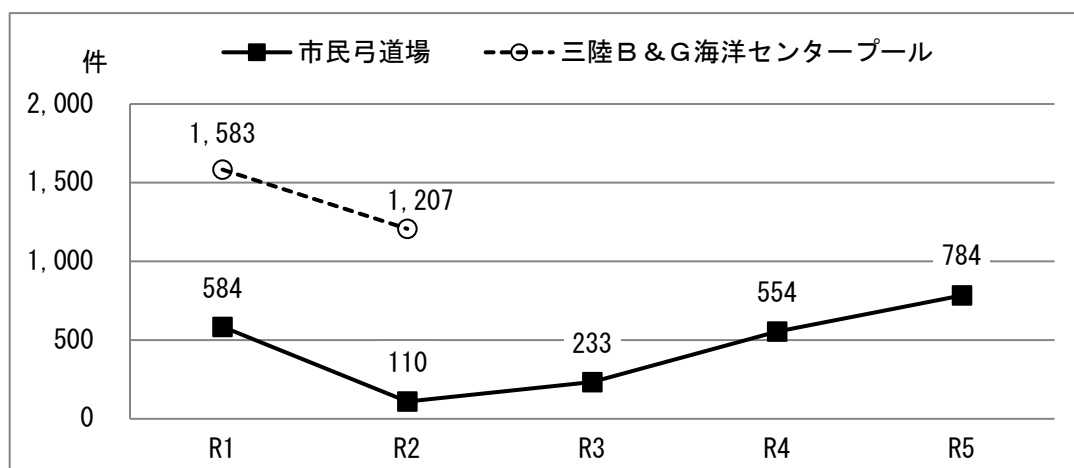
(単位：件、人)

施 設	利用件数					利用者数				
	R1	R2	R3	R4	R5	R1	R2	R3	R4	R5
市民弓道場	216	41	70	252	305	584	110	233	554	784
三陸B&G海洋センタープール	692	818				1,583	1,207			
合 計	908	859	70	252	305	2,167	1,317	233	554	784

(図20) その他施設利用件数の推移



(図21) その他施設利用者数の推移



(2) 学校体育施設の開放

市内小中学校の体育施設の開放状況の推移は、次のとおりです。

(表 7) 小中学校体育施設開放 学校別利用件数の推移

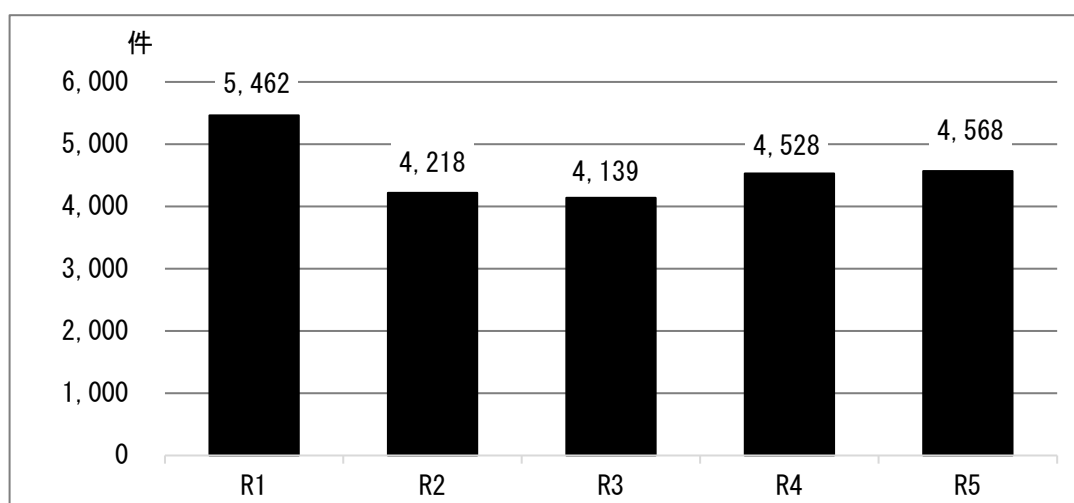
(単位：件、人)

学 校	件数					人数				
	R1	R2	R3	R4	R5	R1	R2	R3	R4	R5
盛小	361	303	284	329	322	10,285	8,475	6,992	7,255	6,348
大船渡小	396	279	316	320	261	11,871	7,278	6,408	7,679	8,127
末崎小	409	381	304	195	258	7,116	6,684	4,273	3,240	4,557
赤崎小	478	415	407	443	416	7,277	6,677	8,310	9,929	8,805
猪川小	332	301	292	409	318	7,363	8,080	8,101	8,812	6,264
立根小	628	567	595	657	504	11,731	10,571	13,253	15,990	9,976
日頃市小	292	241	239	233	303	5,733	3,581	3,151	2,762	3,367
大船渡北小	530	342	341	273	183	9,325	7,496	6,625	5,148	3,895
綾里小	318	319	256	222	260	6,199	6,204	4,980	5,851	6,329
越喜来小	619	606	500	594	542	10,245	10,297	10,000	13,968	12,169
吉浜小	225	136	114	1	0	4,315	2,677	2,268	21	0
小学校計	4,588	3,890	3,648	3,676	3,367	91,460	78,020	74,361	80,655	69,837
第一中	18	1	5	64	252	780	14	213	990	3,784
大船渡中	297	82	148	228	240	3,170	752	1,194	2,213	2,976
末崎中	174	87	133	139	224	4,150	1,732	1,693	2,384	3,101
赤崎中	226	158				2,687	2,700			
日頃市中	106					1,290				
綾里中	1					150				
越喜来中	45					782				
吉浜中	7					49				
東朋中			205	421	485			3,273	6,753	8,038
中学校計	874	328	491	852	1,201	13,058	5,198	6,373	12,340	17,899
合 計	5,462	4,218	4,139	4,528	4,568	104,518	83,218	80,734	92,995	87,736

① 利用件数

利用件数は、令和2・3年度に新型コロナウイルス感染症の影響により大きく落ち込みましたが、その後は回復傾向にあります。

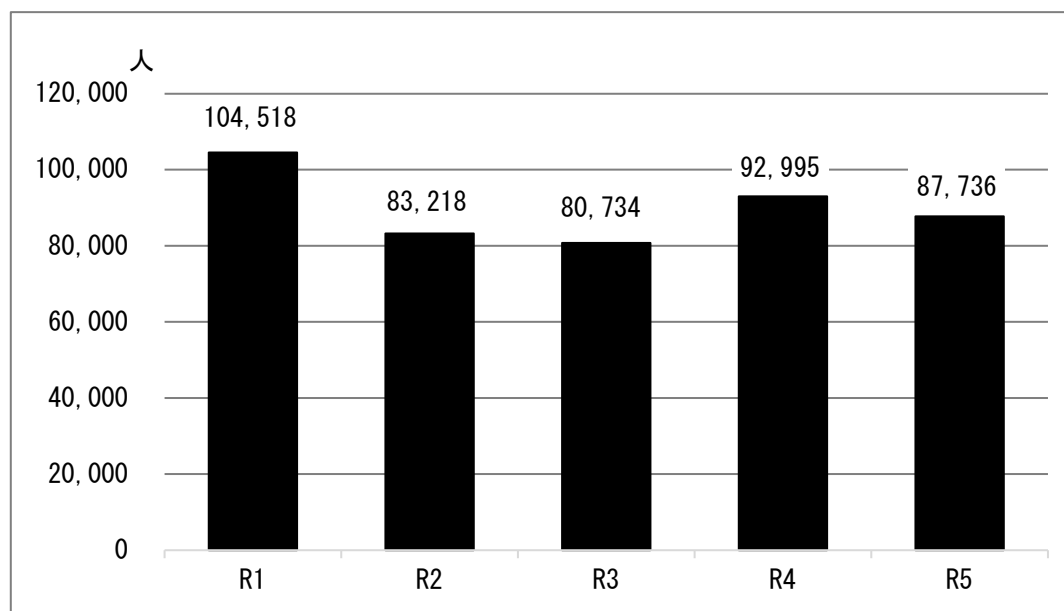
(図 22) 学校体育施設開放 利用件数の推移



② 利用者数

利用者数についても、利用者件数と同様に、新型コロナウイルス感染症の影響により大きく落ち込んだ後、令和4年度に回復しましたが、令和5年度にはふたたび減少に転じています。

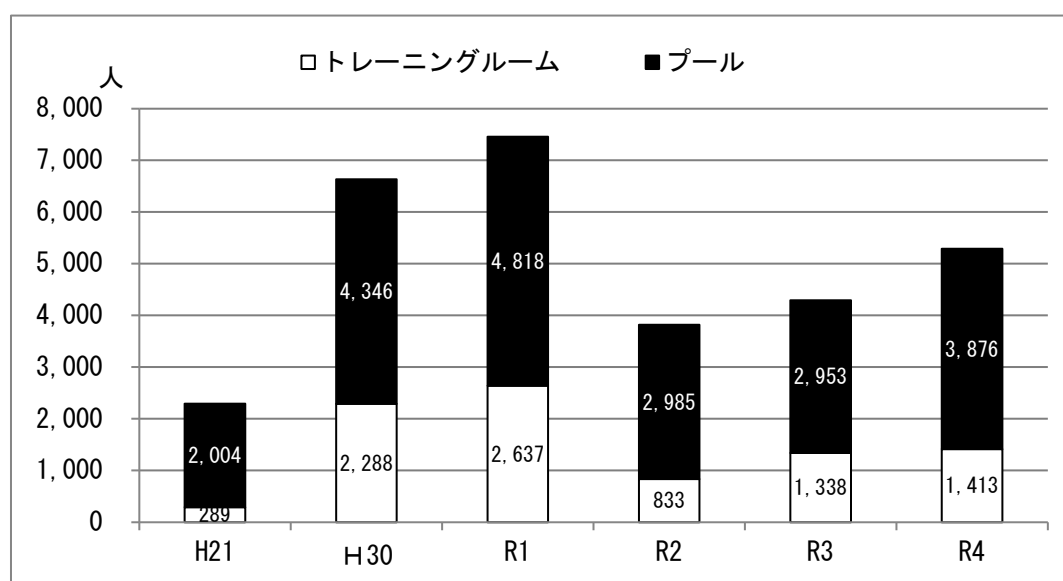
(図 23) 学校体育施設開放 利用者数の推移



(3) その他の施設の利用

Y・Sセンターの高齢者の利用状況について、令和2年度以降はコロナ禍の影響を受けたものの、プールは平成21年度と比較すると令和4年度が1,872人増の3,876人、トレーニングルームは、1,124人増の1,413人となっており、施設の利用が増加しています。

(図 24) Y・Sセンターにおける高齢者利用状況



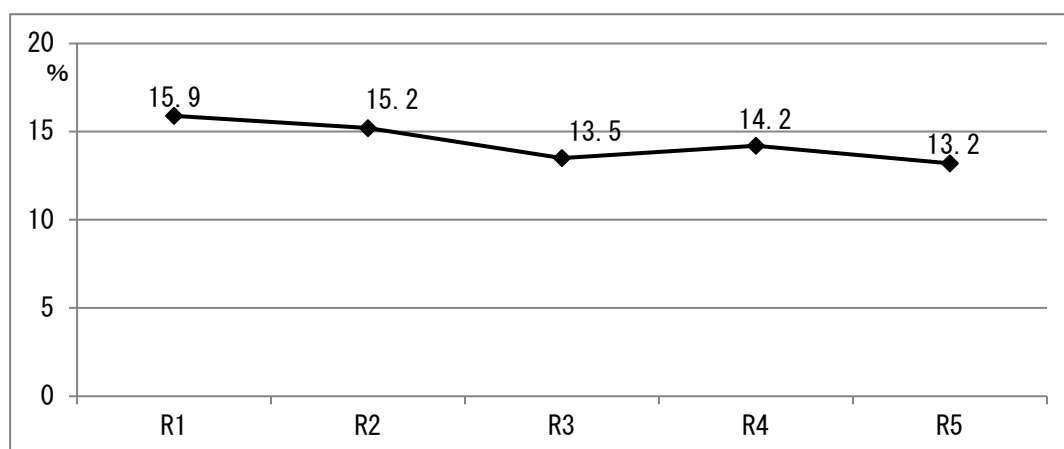
6 市民意識調査の結果

市では、まちづくりや施策に対する市民の意識とともに、施策目的の達成状況の評価する際に必要な成果指標の現状値を把握することを目的に、市内在住の18歳以上の男女2,000人を無作為抽出して、毎年2月から3月にかけて市民意識調査を実施しています。

(1) スポーツの実施状況

令和5年度に実施した調査の中で、全体の13.2%が「日頃から継続して何かスポーツを行っている」と回答しています。令和元年度と比較すると2.7ポイント減少しており、継続的にスポーツに取り組む人々の割合が、減少傾向にあることがうかがえます。

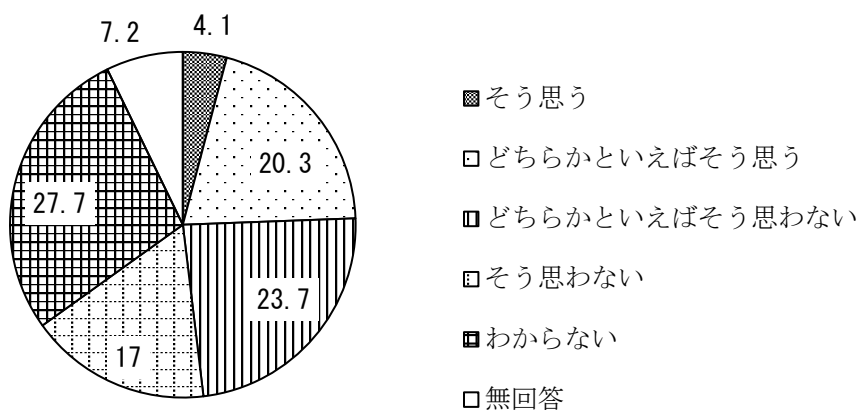
(図25) 「日頃から継続して何かスポーツを行っている」と答えた回答者の割合の推移



(2) スポーツ施設整備及び利用の満足度

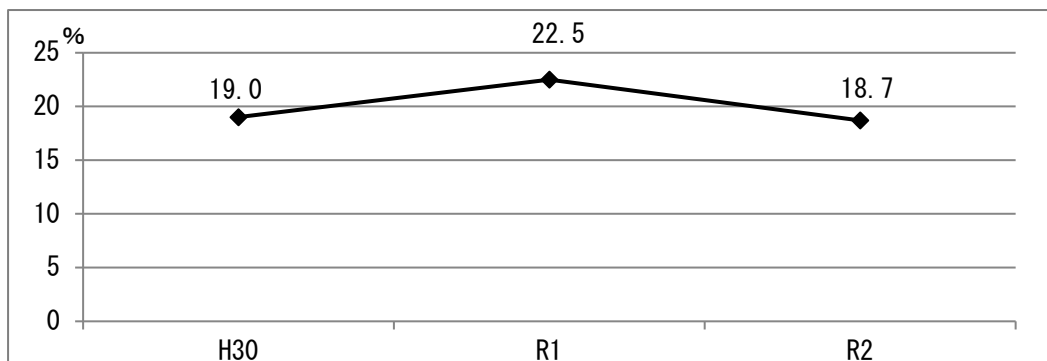
「スポーツ・レクリエーション施設が整備されていて利用しやすいか」との問いに対し、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせると、回答者全体の24.4%にとどまっています。

(図26) スポーツ・レクリエーション施設が整備されていて利用しやすいか

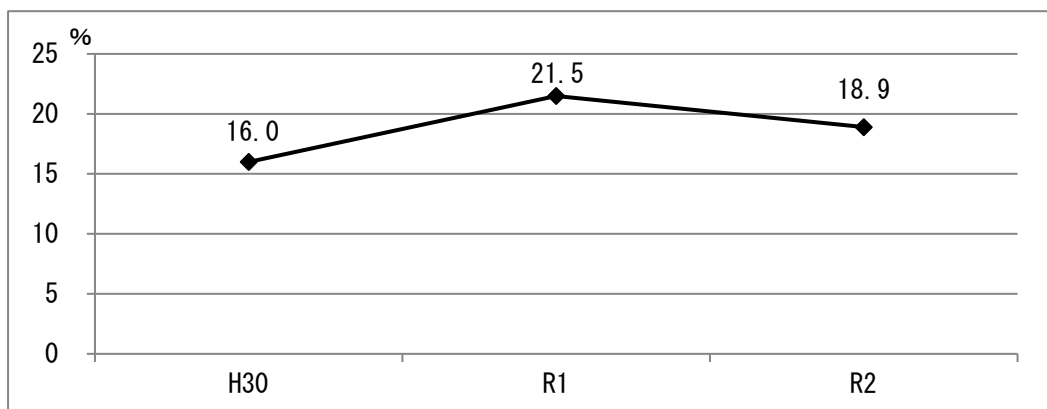


参考 令和2年度までは、「スポーツ・レクリエーション施設が利用しやすいか」と、「スポーツ施設が整備されているか」の2つの質問で調査を実施しています。

(図 27) 「スポーツ・レクリエーション施設が利用しやすい」と答えた回答者の割合の推移



(図 28) 「スポーツ施設が整備されている」と答えた回答者の割合の推移



7 スポーツ推進に向けた課題の整理

(1) 生涯にわたるスポーツの推進

本市の人口推移をみると、人口は減少傾向にあるものの、世帯数は横ばいで高齢人口の割合が増加していることから、世代ごとの課題を把握し、生涯にわたってスポーツに取り組むことができる環境を整備する必要があります。

① 子どもの体力づくり

本市の小中学生の「全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果」では、「体力合計点」において男女問わず全ての年代で全国平均を上回っています。

一方で、小学5年生女子は、ほぼ全ての項目で本市の平成30年度の数値を下回っているなど、懸念材料も現れています。

ライフスタイルの変化や少子化の進行、ゲーム機やスマートフォンの普及などに加え、新型コロナウイルス感染症の感染拡大を契機とした運動機会の減少により、日頃運動する子としない子との体力の格差が懸念されています。今後、小中学校の体育の授業やスポーツ少年団活動、部活動を通じて、スポーツへの関心を高め、体力や運動能力の更なる向上に取り組む必要があります。

② 働き手世代のスポーツ機会の拡充

東日本大震災以降、市内スポーツ施設の利用件数及び利用者数は共に減少しており、働き手世代が、気軽にスポーツに親しむ機会の創出が必要です。また、スポーツ教室やイベントは、子どもや高齢者を対象にしたものが多く、働き手世代が楽しむことのできる機会の充実が求められています。

③ 高齢者・障がい者スポーツの推進

高齢者においては、健康の維持・増進とともに、スポーツを通じた仲間との交流が推進における大きな要素であり、年齢を重ねても仲間と適度に楽しめるスポーツの普及に努める必要があります。

また、スポーツから疎遠になりがちな障がい者の方々に、スポーツをより身近に感じてもらうため、障がいの程度や種類、年齢、性別を問わず誰もが楽しむことのできるスポーツ環境づくりが求められています。

(2) スポーツ環境の充実

誰もが気軽にスポーツに親しめる環境づくりに向けて、スポーツを支える人材の育成や施設の整備・充実など、スポーツ環境の整備に向けた取組が必要です。

① 施設・設備の整備・充実

本市のスポーツ施設は全体的に老朽化が進んでおり、市民意識調査の結果でも、利用しにくいと感じる市民が約4割を占めています。

このことから、既存施設の維持・管理を適切に行っていくとともに、市総合計画や財政計画との整合を図り、公共施設等総合管理計画に基づき、計画的に整備を進めることが求められています。

② 指導者の育成・充実

本市では、一人でも多くの市民がスポーツに親しむ環境をつくるため、大船渡市スポーツ協会と連携し、各種目別協会が主催する各種指導者養成講習会への参加促進などに努めていますが、市民の多様なニーズに応えられるよう、今後も、指導者の育成・充実に取り組んでいく必要があります。

③ スポーツイベントなどを通じた交流人口の拡大及び地域の活性化

大船渡新春ロードレース大会などのスポーツイベントは、市外からの多くの参加者の交流の場として、また、子どもから高齢者まで、様々な世代がスポーツを気軽に楽しむ機会として、更に充実を図っていく必要があります。

また、スポーツ合宿の誘致などにより、市内のスポーツ施設を有効活用しながら、交流人口の拡大と地域の活性化に努めていく必要があります。

④ 近隣自治体との連携

これまで、地区大会規模であれば、各自治体が有する施設に合わせて分散開催し、全県規模の大会では近隣自治体にまたがって会場を設定するなど、施設の補完・相互利用が行われてきたところです。

今後は、多様化する利用者ニーズやスポーツ施設の老朽化、人口減少等を踏まえ、既存ストック及び人材の有効活用を図るため、広域的な視点でのハードとソフト両面にわたる連携を検討していく必要があります。

Ⅲ スポーツ推進に向けた基本的な考え方

1 基本理念

スポーツ基本法に基づいて、国が令和4年3月に策定した第3期スポーツ基本計画では、「する」「みる」「ささえる」を通じて、スポーツに「自発的」に参画し、「楽しさ」や「喜び」を得ることは、人々の生活や心をより豊かにする「Well-being※」の考え方にもつながるものとしています。

本市ではこれまで、市民各層を対象としたスポーツ・レクリエーション機会の提供、交流人口拡大に配慮した各種スポーツ大会の開催支援、スポーツ施設の整備・充実に努めてきましたが、スポーツを通じた地方創生、健康増進による健康長寿社会の実現など、様々な観点からスポーツに対する市民の関心をより高めるとともに、利用者のニーズを踏まえ、スポーツ機会の更なる拡充やスポーツを通じたにぎわいあるまちづくりに努めていく必要があります。

これらのことから、「スポーツを通じて心身ともに健康で豊かな生活の実現」を基本理念とし、子どもから高齢者まで、生涯にわたって市民の誰もがそれぞれの状況に合わせて気軽にスポーツに親しむことができ、また、次代を担う子どもたちがスポーツを通じて夢や希望を抱けるような環境づくりを進めます。

※身体的・精神的・社会的に「良い状態」、「全てが満たされた状態」を意味する概念で、人々の満足度や充実、幸せなどを表すもの。

2 基本方針

基本理念の実現のため、本計画では以下に掲げる3項目を基本方針とし、今後の取組を進めていきます。

(1) 生涯にわたるスポーツの推進

市民が生涯を通じて、いつでも、どこでも、誰でも気軽にスポーツに親しみ、健康の保持増進や体力向上、スポーツ・レクリエーション活動の促進を目的に、主体的にスポーツに取り組むことのできる環境づくりを推進します。

指 標	令和元年度基準値 ※平成30年度実績	令和5年度 (中間実績値)	令和10年度 (目標値)
日頃から継続してスポーツを行っている市民の割合	15.5%	13.2%	19.0%
市内スポーツ施設の利用者総数	276,406人	219,367人	245,000人

(2) スポーツを通じたにぎわいあるまちづくりの推進

スポーツを「する」、「みる」、「ささえる」ことで生み出される達成感や感動、人々の交流やふれあいによる連帯感を、地域のコミュニティ形成とにぎわいあるまちづくりの活力とします。

指 標	令和元年度基準値 ※平成30年度実績	令和5年度 (中間実績値)	令和10年度 (目標値)
大船渡新春ロードレース大会の参加者数	1,656人	1,082人	1,800人
大船渡市スポーツ合宿支援補助金の対象団体数、人数	0団体 0人	2団体 176人	5団体 250人

(3) 市民ニーズに応じたスポーツ環境の整備・充実

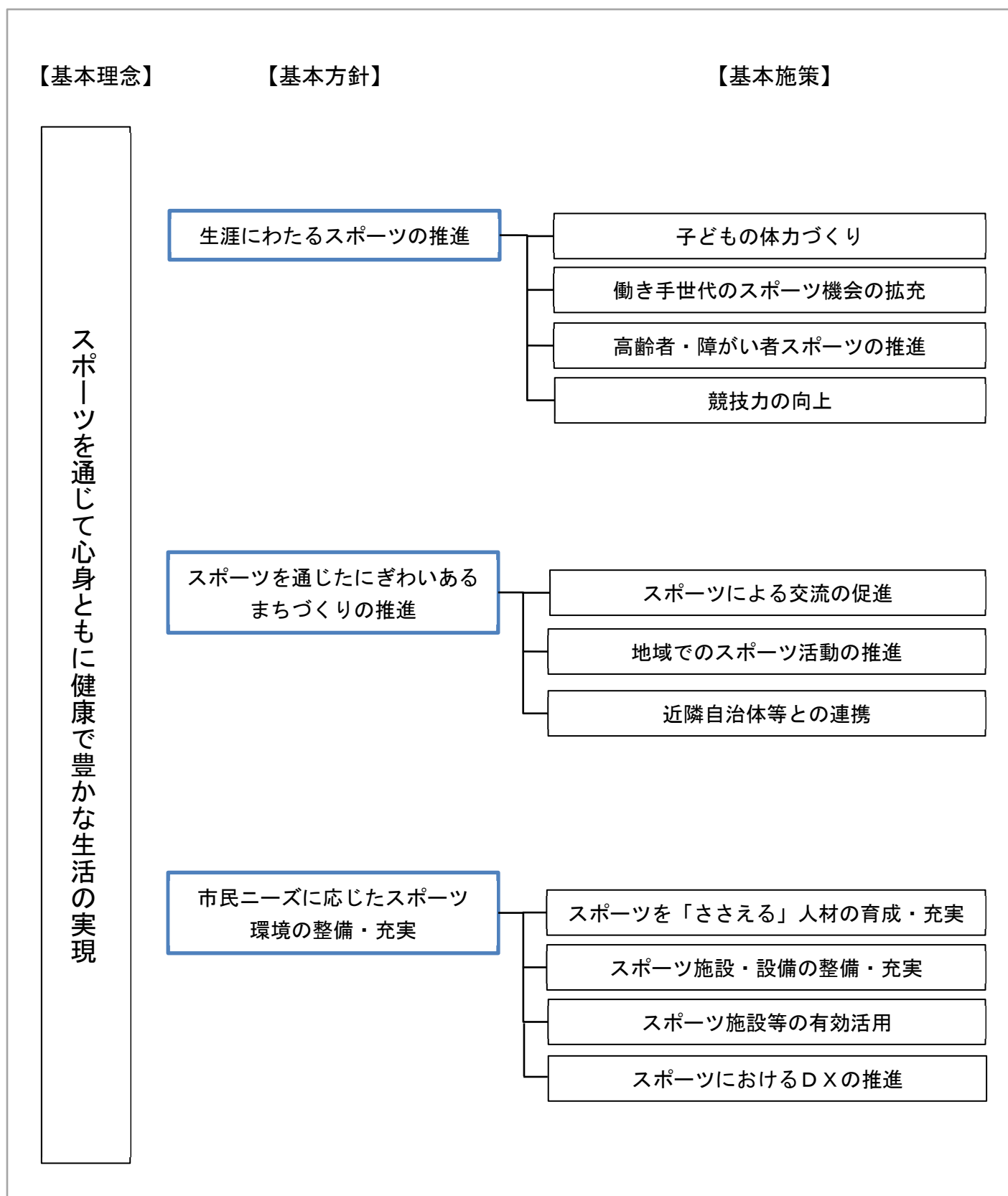
指導者の養成や資質向上に取り組むことでスポーツを「ささえる」人材の育成を推進します。また、今後ますます加速する人口減少に応じて、スポーツ施設の適正配置・適正管理を図りながら、スポーツ環境の持続的な提供に努めます。

指 標	令和元年度基準値 ※平成30年度実績	令和5年度 (中間実績値)	令和10年度 (目標値)
市が主催するスポーツ指導者講習会の参加者数	30人	25人	40人
スポーツ施設利用の満足度*	19.0%	24.4%	23.0%

※市民意識調査で「スポーツ・レクリエーション施設が整備されていて利用しやすいか」との問いに対して、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した人の割合

3 スポーツ推進の施策の体系

(図 29) スポーツ施策の体系図



IV 基本施策

1 生涯にわたるスポーツの推進

(1) 子どもの体力づくり

- 幼児期においては、市関係部署や認定こども園、幼稚園・保育園、関係団体等が連携して、運動する機会や場を創出し、運動習慣の定着化を図ります。
- 子どもの体力や運動能力の向上には、子ども自身が体を動かすことの楽しさを発見することが大切です。運動を「スポーツ」として捉えるのではなく、様々な「遊びの延長線上にあるもの」として考え、家庭や学校、地域、関係団体と連携して、体を動かす遊びの機会の創出や環境づくりを進めます。

主な事業	事業内容
スポーツ教室開催事業	キッズ体育教室、ジュニア陸上教室など幼児から小中学生を対象として、各種教室を開催

- 小中学校における体育の授業や休み時間の遊びが、子どもたちの体力づくりの基礎となることから、楽しんで運動に取り組めるような魅力ある授業づくりの推進や、体を動かして遊ぶきっかけづくりに取り組みます。
- スポーツ少年団活動・部活動を通じて、スポーツの楽しさや喜び、爽快感や達成感といった精神的充足や自主性、協調性を養うことで、スポーツの意義について学ぶとともに、運動習慣の定着、体力の向上につなげていきます。

主な事業	事業内容
スポーツ少年団活動支援事業	スポーツ少年団の設立に関する指導や登録、運営費の助成などを実施
スポーツ少年団運動適性テスト測定会	スポーツ少年団を対象とした体力測定会を実施

(2) 働き手世代のスポーツ機会の拡充

- 将来に向けた自身の健康づくりや、親子、家族のふれあいのきっかけとして、スポーツは有効な手段の一つです。幅広い働き手世代において、それぞれの年代に合わせたスポーツ機会の創出、充実を図るとともに、スポーツイベント情報等を積極的に提供します。
- 特に、中高年期において、元気で豊かな生活を送るため、健康づくりを目指した各種スポーツ教室や気軽に取り組むことのできるウォーキングなどのイベントを開催し、生活習慣病の予防を図ります。

主な事業	事業内容
学校体育施設開放事業	市内小中学校の体育館、グラウンドを市民のスポーツの場として開放
市民体力測定会	市民を対象とした体力測定会を実施
ファミリーウォーキング	親子参加型のウォーキングイベントを実施

(3) 高齢者・障がい者スポーツの推進

- グラウンド・ゴルフやゲートボール、ウォーキング、ラジオ体操など、体力に自信のない人でも気軽に参加できるようなスポーツ機会の拡大を図ります。
- 大船渡市老人クラブ連合会や大船渡市社会福祉協議会などと連携しながら、より多くの高齢者がスポーツ活動に参加し、スポーツを通じた交流機会の拡充を図られるよう支援していきます。
- 健康おおふなと 21 プランや大船渡市高齢者福祉計画との整合性を図りながら、高齢者の体力づくりや生きがいづくりによる健康寿命の延伸を目指します。

(4) 競技力の向上

- 東北大会以上の大会に出場する児童生徒に対し、交通費や宿泊費の一部を助成するほか、大会等で優秀な成績を収めた個人、団体等に対し表彰を行うなど、活動の支援とモチベーションの向上に資する取組に努めます。

主な事業	事業内容
全国大会等出場奨励事業	東北大会や全国大会に出場する本市代表選手に対し、激励金を交付
体育功労者等顕彰事業	競技団体等の発展に貢献した人や優秀な成績を収めた選手を表彰
スポーツ協会加盟団体活動支援事業	加盟団体の活動費を助成し、日常的な活動と市民のスポーツ参加を推進
選手強化助成事業	競技力向上のため、加盟団体へ選手強化費を助成
岩手県民体育大会選手派遣支援事業	県民体育大会の選手派遣費を助成し、大会参加を促進

- 復興支援団体や関係団体等と協力して、トップアスリートによるスポーツクリニック等を開催するなど、一流選手の技術、メンタル等に触れる機会を提供し、選手の意識と競技力の向上に努めます。
- 大船渡・住田定住自立圏域外の高校や大学等のスポーツ関係部の合宿誘致に努め、市内の中高校生との合同練習や試合の実施を通して、競技力の向上を図られるよう取り組みます。

2 スポーツを通じたにぎわいあるまちづくりの推進

(1) スポーツによる交流の促進

- 市民体育大会を始め、高齢者スポーツ交流大会、スポーツ少年団交流大会、ニュースポーツ・フェスティバル、更には各種スポーツ教室の開催など、競技スポーツに限らず、日常的に市民がスポーツに親しむ機会の創出を図り、市民間の交流機会の拡充を促進します。

主な事業	事業内容
市民体育大会	スポーツへの関心を高め、スポーツ活動を促進することを目的に市民体育大会を開催。令和5年度は14競技を実施
高齢者スポーツ交流大会	各地域の老人クラブ対抗による、ニュースポーツを通じた交流大会
スポーツ少年団交流大会	綱引き、長縄跳び、ドッチビーを実施
ニュースポーツ・フェスティバル	様々なニュースポーツの普及等を目的とした交流大会

- 歴史と伝統ある大船渡新春ロードレース大会を始め、本市出身選手の功績を称え顕彰するポートサイドバレーボール大会などのスポーツイベントの開催を通じて、スポーツイベントの盛り上げに努めます。

主な事業	事業内容
大船渡新春ロードレース大会	県内の陸上シーズンの幕開けを告げる大会として、ロードレース各種、駅伝を開催
ポートサイドバレーボール大会	バルセロナ五輪に出場を果たした本市出身の栗生澤淳一氏を顕彰し、スポーツ少年団を対象としたバレーボール大会を開催

- 本市にゆかりのあるアスリートへの応援を通じて、シビックプライドの醸成やシティプロモーションの推進を図ります。

主な事業	事業内容
大船渡アスリート応援団	SNS※を中心とした応援メッセージの発信、現地観戦・応援等

※ SNS（エスエヌエス）

ソーシャル・ネットワーキング・サービスの略称で、Web上で社会的ネットワークを構築可能にするサービスのこと。個人間のコミュニケーションを主目的としており、X（旧 Twitter）やFacebook、Instagram、LINEなどが挙げられる。

- 市と市内関係団体からなる大船渡市スポーツ交流推進連絡会議や、県内の自治体や関係機関等からなるいわてスポーツコミッションにおいて横断的な連携を図りながら、大船渡・住田定住自立圏域スポーツ合宿支援補助金の活用などによりスポーツ合宿等の誘致を進めるとともに、スポーツイベントや各種県大会の開催誘致に取り組み、地域経済の活性化とにぎわいの創出につなげていきます。

- BMX^{※1} や 3 X 3（スリーエックスリー）バスケットボール、スケートボードなどの、東京 2020 オリンピックで採用されたアーバンスポーツ^{※2}を積極的に取り入れ、「する」だけでなく「みる」楽しさも併せ持つ、次世代スポーツのイベント開催やその支援を検討します。
- スポーツイベント等の開催に当たり、市広報だけでなく公式ホームページ、フェイスブックやX（旧ツイッター）などといったSNSと連動した情報提供など、必要とする情報を市民がいつでも入手できるよう、様々な発信方法を検討します。
- 豊かな自然を活用したマリンスポーツなどの普及・推進に取り組むとともに、いわてスポーツコミッションなどと連携しながら、スポーツアクティビティによる地域活性化を推進します。

※1 BMX（ビーエムエックス）

直径の太い車輪が付けられた小型の競技用自転車、及びこの自転車をを用いた競技。東京 2020 オリンピック競技大会から正式種目に追加された。

※2 アーバンスポーツ

広い競技場を必要とせず公園や路地裏など都市の中でできる、若者の遊びから生まれたスポーツ。ファッションや音楽といった若者文化との関連性が強調されているものも多い。

(2) 地域でのスポーツ活動の推進

- 東日本大震災によりこれまでの在り方が大きく変化した地域コミュニティについて、レクリエーションやニュースポーツのイベント開催などを通じ、達成感や連帯感を共有することで、新たなコミュニティの形成を支援します。
- 各地区・地域でのスポーツ・レクリエーション活動に普及・指導の役割を担うスポーツ推進委員を派遣するなど、地域における自発的なスポーツ・レクリエーション活動の支援に努めます。

主な事業	事業内容
スポーツ推進委員設置運営事業	実技指導、助言等を行うスポーツ推進委員をスポーツ大会や親子レクなどに派遣
地域公民館対抗卓球大会	各地域公民館単位でのチーム編成による、ラージボール卓球大会を開催

- 少子化が進む中、将来にわたり生徒がスポーツに継続して親しむことができる機会を確保するため、運動部活動の地域移行について、国のガイドライン等を踏まえながら、取組を進めていきます。

(3) 近隣自治体等との連携

- これまで近隣自治体との施設の相互利用により実施されてきた各種大会を、今後も継続して実施するとともに、新たな大会等の誘致に向けた近隣自治体との連絡体制の構築を図ります。
- 市民のスポーツ活動においても、利用者のニーズや利用形態に合わせた施設の補完・相互利用を推進します。
- 各種スポーツ教室や施設、指導者等、スポーツに関する様々な情報について、関係部署やスポーツ協会、NPO法人等、スポーツに関する各種団体、近隣自治体と共有し、住民個々の興味や目的、ライフステージに応じて幅広く提供できるように、関係団体等との協議を進めます。

3 市民ニーズに応じたスポーツ環境の整備・充実

(1) スポーツを「ささえる」人材の育成・充実

- 大船渡市スポーツ協会と連携して、各種目別協会等が主催する指導者養成の各種講習会への参加を促進し、指導者の育成・充実に努めます。また、外部講師による研修会の開催を通じて、指導者の技術向上を図ります。

主な事業	事業内容
認定指導者助成事業	スポーツ少年団認定員の資格取得者の増大を図るため、認定指導者講習会の受講料を助成
スポーツ少年団指導者研修会開催事業	スポーツ少年団の指導者等を対象に、体力づくりやトレーニングに関する研修会を開催

- 大船渡市スポーツ推進委員を各種研修会等に派遣し、スポーツコーディネーターとして更なる資質向上を図ります。
- 大船渡市社会福祉協議会や岩手県障がい者スポーツ協会等と連携し、高齢者や障がい者のスポーツに関する講習の場への参加を促進することで、支援を必要とする人々のスポーツ推進体制を整備します。
- 障がい者の方々が身近にスポーツに親しむためには、指導者やボランティアなどの支える側の人材の育成・確保が重要であることから、大船渡市スポーツ推進委員などを中心に、障がい者スポーツ指導の知識習得のための講習会への参加を促進し、ボランティアの育成等を推進します。

主な事業	事業内容
スポーツ推進委員研修会派遣事業	県内や東北地区で開催される各種研修会にスポーツ推進委員を派遣

(2) スポーツ施設・設備の整備・充実

- 将来にわたる人口の減少やニーズの変化、財政状況などを踏まえながら、施設・設備の計画的な整備に努めます。
- 既存のスポーツ施設については、長寿命化への対応を基本とし、利用者の安全性や利便性を考慮し、必要に応じて計画的に修繕、改修を行うとともに、附帯設備の整備・充実、競技種目ごとに規格に沿った整備に努めます。
- 施設の更新に当たっては、必要性はもとより、整備費や将来にわたる維持管理費などの財政負担を十分考慮し、公共施設等総合管理計画等との整合を図りながら検討を進めます。
- 今後、生涯スポーツを推進していく上で、障がいの有無や年齢、性別等に関わらず様々な人々が利用しやすい施設が求められています。国の支援制度等を有効に活用し、バリアフリー化など計画的な整備を推進します。

主な事業	事業内容
スポーツ施設整備事業	市内スポーツ施設の修繕等を行い、利用者の安全性、快適性の向上を図る。

(3) スポーツ施設等の有効活用

- スポーツ施設の指定管理者に対して、利用者の増加等に資する事業計画のもと、より効果的な運営が行われるよう促すとともに、各施設の課題等について情報共有を図りながら、連携を深めていきます。
- スポーツ施設の利用状況や利用者のニーズ等を踏まえ、施設利用料の在り方について定期的な見直しを行っていきます。
- 地域住民の最も身近なスポーツの場としてより気軽に利用できるよう、学校開放施設の利用を促進します。
- スポーツ施設の予約・利用手続や、各種スポーツ大会の参加申込等においてD X（デジタル・トランスフォーメーション）を進め、ホームページの充実など利用環境の向上を図ります。

(4) スポーツにおけるD Xの推進

- 健康上等の理由で外出が困難な人や、仕事や家事等でスポーツから離れていた人も含め、誰もが気軽にスポーツにアクセスできるよう、健康体操やトレーニングの動画配信など、デジタル技術を活用した新たなスポーツの取組を推進します。

V 計画の推進と進捗管理

1 計画の推進

本計画の推進に当たっては、スポーツ関係団体を始め、健康づくりや子育て支援、学校教育などの関連部署等との一体的な取組が必要です。大船渡市スポーツ推進審議会等を通じて市民の意向を反映させていくとともに、スポーツ関係団体等の関係機関と連携を図りながら、市民と共にスポーツの推進を図っていきます。

2 計画の進捗管理

毎年度、大船渡市スポーツ推進審議会において、各種事業の実施状況や効果、数値目標の達成度などについて評価・検証を行いながら、より実効性のある事業の実施に努めます。また、計画の進捗状況や数値目標の達成状況について、市の広報やホームページを活用して随時公表しながら、市民や関係団体などからの意見を施策に反映させていきます。